

平成 22 年度東海北陸ブロックアートマネジメント研修会  
平成 22 年度東海北陸地区公立文化施設協議会自主文化事業・技術研究会

## 講師等プロフィール

### ザ・ニューズペーパー(ざ・にゅーすペーぱー)

#### 社会風刺コント集団

1988 年、昭和天皇重病による「歌舞音曲自肅」の嵐の中、すっかり仕事のなくなったコントグループ 3 つが仕方ないので集結し、国内外の政治、経済、事件、芸能・・・モロモロの社会情勢を笑いに転換すべく結成したコントグループ『THE NEWSPAPER』(ザ・ニューズペーパー)。日々刻々と変わる「ニュース」を素材にコントを仕上げ舞台化。さっき聞いたニュースがすぐに舞台上に載ることもしばしば。表現力豊かな役者が演じる様々な人物のコントに、笑いながらニュースの裏に隠された社会の本質が見えてくるかも。特に歴代総理大臣の形態模写(心の中まで模写！?)を中心とした政治コントは他にまねの出来ない得意分野。結成以来、ニュースを素材にひたすらライブにこだわるスタイルは変わらない。常に今を生きる社会風刺コント集団である。

### 平 常(たいら じょう)

#### 人形劇俳優

1981 年札幌市生まれ。12 歳のときにひとり人形劇「どんぐりと山猫」でデビュー。19 歳のときに拠点を東京に移しジョウズグループ(たいらじょう人形劇事務所)を設立。子育て支援センターなどでの小規模公演から、1,000 名以上を収容する大ホールでの大型人形劇ミュージカル(「オズの魔法使い」など)まで、全てをひとりで演じわけ、その演出・脚本・音楽・美術をも自らのプロデュースにより具現化。題材も、大人の観客限定による文学作品(寺山修司原作「毛皮のマリー」、泉鏡花原作「天守物語」、サン＝テグジュペリ原作「星の王子さま」など)から、赤ちゃんのための人形劇まで幅広く上演。全国の公共ホールと提携して小学校を訪問するアウトリーチ活動も多数実施。精力的な活動と芸術性に溢れた作品は、NHK を始めとする各局のメディア・新聞・雑誌でも度々取り上げられ、各界からの注目を集めている。「毛皮のマリー」で日本人形劇大賞銀賞を最年少で受賞。そのほか子どものためのオリジナル作品が厚生労働大臣より表彰されるなど受賞多数。URL <http://tairajo.com>

### 米本 一成(よねもと かずなり)

#### 財団法人かすがい市民文化財団 宣伝グループ スタッフ

1974 年、岐阜県生まれ。高校・大学で 6 年間、建築を学ぶも愛知県立芸術大学大学院でデザインを専攻、98 年修了。同年 4 月株式会社創建入社。プランナー・ファシリテーターとして地方都市のまちづくり計画に携わる。2005 年より現職。音楽・演劇・ダンス・美術などの宣伝・広報・編集・デザインに企画・制作として取り組む。

### 高橋 正浩(たかはし まさひろ)

#### ハンブトンジャパン株式会社 営業部 スタッフ

2000 年、大阪芸術大学芸術学部文芸学科卒業。卒業後に都内の演劇制作会社にてアルバイトとして、蜷川幸雄・山田和也演出作品の制作補助、チケット販売促進、舞台監督助手などを経験し、商業演劇の現場を垣間見る。その後、出身地の群馬県に戻り、02 年、ハンブトンジャパン株式会社に入社。

## 藪田 哲也(やぶた てつや)

### 幸田町民会館(幸田町文化振興協会) 統括マネージャー

1996 年 4 月、同年 8 月に開館予定である幸田町民会館の補助的管理と自主事業運営を目的として設立された幸田町文化振興協会職員として採用される。町民会館開館以来、ホールの事業運営に携わり、主に住民参加企画や各種教室を立ち上げ、鑑賞型事業と普及、参加型事業のバランスを重視した現在の取り組みの方向性を定めた。2006 年から、幸田町文化振興協会がハピネス・ヒル・幸田(敷地内に会館、プール、図書館を有す)の指定管理者となり、現在、3 施設の統括マネージャーとして勤務している。

## 増田 正也(ますだ まさや)

### 中京テレビ放送株式会社 経営企画局 総合企画部 部長

1960 年、三重県四日市市生まれ。東京都立大学卒業後、中京テレビ放送(株)に入社。経理部を経て、88～2007 年まで事業部に配属。事業部では、「ディズニー・オン・アイス」日本公演の総合プロデューサー、「中京テレビ・ブリヂストンレディスオープン」プロデューサーなどをつとめる。また、演劇部門では「つかこうへい」芝居を名古屋で 20 年間に渡り公演実施、07 年には「THE ICE」を制作、浅田真央・安藤美姫を始めとする日本人スケーターや世界のトップクラスを招いたアイスショーを立ち上げた。07 年から企画部を経て、09 年より現職。趣味は食べ歩き、特に新しく出来た店と蕎麦屋には執着。モットーは、人生を1秒でも長くいきること…。

## 三田村 泰和(みたむら やすかず)

### 中日新聞 放送芸能部 記者

1964 年、大阪生まれ。早稲田大学卒業。89 年に中日新聞入社後、浜松、浜岡、松阪、近江八幡、大阪での一般取材を経て、2006 年から放送芸能部で演劇を担当。座右の銘は「なんとかしようと思えば、なんとかなる。なるようにしかならないけど」

## 小島 祐未子(こじま ゆみこ)

### びあ株式会社 「月刊びあ×スターキャット東海版」演劇担当、および副編集長

1970 年、岐阜県下呂町(現・下呂市)生まれ。南山大学卒業後の 1993 年、びあ株式会社入社。中部支局にて雑誌「びあ中部版」の演劇担当に着任する。以降、愛知・三重・岐阜を中心に小劇場演劇から商業演劇、ミュージカル、ダンス、伝統芸能、お笑い、演芸などを幅広く取材。2009 年からは副編集長を兼任した。2010 年 6 月に「びあ中部版」休刊後は、フリーマガジン「月刊びあ×スターキャット東海版」の演劇情報欄と副編集長を担当。新たなスタイルで、東海地区の演劇文化の活性化を模索している。なお、座右の銘は「酒の一滴は、血の一滴」。

## 山川 愛(やまかわ あい)

### 財団法人かすが市民文化財団 宣伝グループ スタッフ

1976 年、愛知県生まれ、広島育ち。98 年金沢美術工芸大学工業デザイン科卒業、99 年インターメディアム研究所(IMI・大阪)修了後、IMI 広報担当、企画・営業・制作ディレクターを経て、2005 年より現職。美術・演劇・音楽・ダンスなどの宣伝・広報・編集・デザインに企画・制作として取り組む。座右の銘は「試行錯誤…」。

## 森 隆一郎(もり りゅういちろう)

### いわき芸術文化交流館アリオス マーケティングマネージャー

いわき芸術文化交流館アリオスのマーケティングマネージャーとして、多様な市民にとって、施設がアートを通じた出あいや、気づきの場となるための仕組みを考え、実践する日々を送っている。1990 年財団法人江東区地域振興会入社。江東区文化センターに配属、1998 年江東公会堂(ティアラこうとう)に異動、オーケストラとバレエ団との提携事業を中心に自主事業全般を担当。2002 年よりアサヒ・アート・フェスティバル実行委員、すみだ川アーツのれん会主宰。地域資源に着目したアートプロジェクトを試みる。2007 年より現職。

## 安田 江(やすだ こう)

### 兵庫県立芸術文化センター(財団法人兵庫県芸術文化協会) 事業部広報担当課 課長補佐

2004 年 8 月財団法人兵庫県芸術文化協会に入社。2005 年 10 月にオープンした兵庫県立芸術文化センターの立ち上げ(創設)に携わる。入社時から現在まで一貫して事業部広報担当課にて広報・営業部門を担当。団体セールス、スポンサーセールス等の営業活動は勿論のことチケット販売システムの構築・管理・運営等にも携わる。その業務範囲は多岐に渡り、まさにマルチプレイヤーといえる。

得意分野:クレーム処理、長電話対応、無茶振り(する方)

苦手分野:無茶振り(される方)、予期せぬ飲み会

## 沖山 高之(おきやま たかゆき)

### 株式会社リンクステーション カスタマ営業部 部長

1984 年の大規模トランザクション処理を行うクライアントサーバー型のシステムを稼働させ、99 年の VMS (ベニューマネージメントシステム) 事業本部配属後は、主催者側に立ったチケット販売管理システムを業務設計、新国立劇場、宝塚大劇場、東京宝塚劇場等のシステム導入を行う。2004 年、ぴあ株式会社の競合である株式会社エンタテインメントプラスに転職。票券管理部長として興行主催者のチケット管理代行業務などに従事。07 年、株式会社リンクステーションに転職。ホール、主催者様に票券管理システム「Gettii」を導入営業し、現在に至る 3 年間で導入クライアント実績 70 を超える。

## 初山 勝人(もみやま かつひと)

### 長久手町文化の家 事業係長

オペラ、バレエ、ファッションショーなどの舞台照明オペレーターとして全国ツアーに参加。1993 年、岐阜県瑞浪市役所に入庁し、同市の芸術文化振興を担当。地域劇団設立に関わり全公演の照明プランを担当。97 年、長久手町役場入庁し、長久手町文化の家の設立に関わる。開館後は自主制作のオペラ、演劇などの舞台美術、舞台監督、舞台照明を担当。現在は事業制作も兼務する。主な自主制作事業は、長久手国際オペラ声楽コンクール、地域演劇祭、長久手オペラ、町劇団、町合唱団、ながくてアートフェスティバルなど。非営利特定法人世界劇場会議名古屋理事、社団法人日本照明家協会会員。

## 衛 紀生(えい きせい)

### 可児市文化創造センター ala (財団法人可児市文化芸術振興財団) 館長兼劇総監督

1947 年 1 月 26 日、東京生まれ。早稲田大学中退後、虫プロダクション企画演出課に勤務。ほぼ同時に演劇批評家として雑誌「新劇」等に連載を始める。70 年代後半、山崎哲、渡辺えり子、北村 想、竹内銃一郎らをいち早く評価して「第三世代」のネーミングマスターとなる。80 年代後半から BS エンターテイメント・ニュースの演劇キャスターを務め、93 年に地域演劇の振興と演劇環境の整備を目的に舞台芸術環境フォーラムを設立。現在、文化庁芸術拠点形成事業委員、芸術文化振興基金地域文化活動専門委員、金沢市民芸術村アドバイザー、長岡芸術文化振興財団アドバイザー、島根県文化財団アート・アドバイザーなど十数地域の自治体文化行政にかかわる一方で、文化庁、財団法人地域創造、芸術文化振興基金、芸団協、芸術文化振興会議などの委員を務め、あわせて日本照明家協会賞舞台部門、ニッセイバックステージ賞等の審査委員を務める。

### **松浦 茂之(まつうら しげゆき)**

#### **三重県文化会館(財団法人三重県文化振興事業団) 事業推進グループ リーダー**

金融機関等の民間勤務を経て、2000 年より財団法人三重県文化振興事業団総務部職員として勤務。総務部企画広報総務グループリーダーを経て 07 年 4 月より現職。総務部では、施設管理業務、人事労務管理業務を担当しながら、平成 12 年度から始まった組織改革、業務改革に携わり、ISO9001 品質マネジメントシステムの導入及び認証取得(02 年 3 月 29 日認証登録)、中期経営計画策定、指定管理者応募作業等を担当。事業部に異動してからは事業統括と演劇事業を中心に担当し、現在に至る。

### **丹羽 功(にわ いさお)**

#### **中京大学文化市民会館(財団法人名古屋市文化振興事業団) 劇場課長**

1990 年、財団法人名古屋市民会館管理公社(現・財団法人名古屋市文化振興事業団と 99 年に統合)に入社し、技術部音響課配属される。2000 年、名古屋市北文化小劇場開設準備室に異動し、立上げに携わる。01 年、名古屋市民会館技術部音響課。03 年、名古屋市南文化小劇場。以降、名古屋市名東文化小劇場兼名古屋市守山文化小劇場館長、名古屋市青少年文化センター管理課長、文化事業部主幹兼総務部主幹などを歴任。08 年より中京大学文化市民会館(名古屋市民会館)劇場課長。「駅から近い職場」という理由で名古屋市民会館に就職。舞台(劇場)のことは全く知らないにも関わらず、配属されたのは技術部音響課。上司に“舞台の仕事”について質問して、「舞台のことがわかるようになるには 10 年、一人前になるには数 10 年。」と言われ、「何という職人の世界に入ってしまったのか…。」と、困惑している間に 19 年の月日が経過。一般社団法人日本音響家協会中部支部副支部長(1 級音響技術者)

### **三輪 千穂(みわ ちほ)**

#### **春日井市民会館(財団法人かすがい市民文化財団) 舞台グループ スタッフ**

愛知県生まれ。名古屋大学文学部卒業後、一般事務職として某紙製品メーカーに勤務。2005 年、かすがい市民文化財団にうつかり転職。総務グループで 2 年間庶務を担当したのち、舞台グループにだまされて異動。ホールの運営・サービス業務を担当し現在に至る。

### **風井 伸夫(かざい のぶお)**

#### **愛知県春日井警察署(愛知県警) 警備課長**

1981 年、愛知県巡査拝命。主に外事警察部門で勤務し、2008 年 4 月より現職(警視)。1992～95 年、外務省に出向、在イスラエル日本国大使館二等書記官兼領事として大使館警備、現地治安情報収集、イスラエル・パレスチナ占領地での邦人保護活動に当たる。2000～03 年、警察庁に出向、警備局外事課の国際テロ対策室(当時)要員として海外治安機関との情報交換、国際テロ組織に関する情報収集・分析に当たる。

## 浅野 芳夫(あさの よしお)

### 稲沢市民会館(稲沢市公共施設管理協会) 主査

大学在学中の 1985 年に CBC ラジオ「土曜天国」にレギュラー出演。大学を中退し、その後、中京テレビ「クイズ知って得Q便」、名古屋テレビ「平成のオキテ」のリポーター、中京テレビ「お笑いマンガ道場」のアシスタントぬいぐるみ「りゅうのすけ」の中身、ドラマやコントなどの出演、CBC テレビ「名古屋発新そこが知りたい」等テレビの構成や構成補助、イベント企画を行う。94 年、稲沢市民会館準備室内稲沢市民会館管理協会に入社。現在、稲沢市公共施設管理協会稲沢市民会館事務所主査兼管理グループリーダーとして、自主事業企画、保守管理・修繕、小ホール音響、照明の操作等を行う。第一種劇場技術者、一般社団法人日本音響家協会会員

## 青地真巳(あおち なおみ)

### テンプスタッフ・ピープル株式会社 人材開発部研修課 インストラクター

1985 年、株式会社東芝に入社。PR 誌企画・編集、販売物作成・管理を行う。株式会社ナカガワジュリーの展示会企画・運営、株式会社プラザクリエイトの秘書業務を経て、テンプスタッフ・ピープルの前身ウーマンスタッフ株式会社に入社。研修企画・営業・講師を務め、現在は人材育成研修インストラクター・カウンセラーとして、各地で接遇マナー研修やキャリア開発講座などの講師を行っている。日本産業カウンセラー協会認定産業カウンセラー、キャリアコンサルタント。

## 鍛冶 雅美(かじ まさみ)

### 財団法人かすがい市民文化財団 舞台グループ スタッフ

広島県出身。市民劇団でミュージカルを学ぶ。在団当時から舞台に立つことよりも、舞台裏にいる黒い人たち(裏方の仕事)に興味を持つ。裏方のプロフェッショナルに！と 2004 年大阪芸術大学芸術学部芸術計画学科に入学。在学中に真っ暗闇で鑑賞する展覧会「暗展」でアートプロデュースコンペティション芸術計画賞を受賞。08 年、(財)かすがい市民文化財団に入社。舞台グループ販売促進・フロントスタッフ担当。日夜黒づくめの格好で、市民会館と文化フォーラムの間を走り回る。特に好きな色が黒というわけではない。